

## “不思議・疑問に思うこと”

石原靖造

ウクライナでの惨状、安倍さん銃撃事件、コロナ感染拡大と暗いニュースに気分も沈み勝ちになりますが、加えて梅雨が明けたと言うのにその後も各地で大雨、これを如何理解して良いか分からないので、余計気分が落ち込みます。

不思議・疑問と言う程大げさではありませんが、最近の世論調査で少し首を傾げたくなる様な事に気付きましたので書かせて頂きました。

6月21日NHKの憲法改正に関する世論調査で、改正賛成37% 必要ない23% どちらとも言えない32% 分からない・無回答8%と出ました。この内容から如何考えても改正は難しいと思ってましたが、選挙結果は賛成派が改正に必要な2/3を占めており、衆議院も2/3ありますから早くも改正の話が持ち上がっています。

この食い違いは何故起こったのでしょうか？調査の時には余りに大きな問題の二者択一を迫られ、即座にYES NOの返事が出来ず“どちらとも言えない”に逃げ込んでしまったのではないかと思うのです。この“どちらとも言えない”と言う回答自体極めて無責任な感じを受けますので、一層の事、賛成、反対、分からない、にしてはと思います。如何でしょうか？

選挙戦たけなわに“選挙に行くか？”と言う世論調査がありました。

必ず行く48% 行くつもり24% 期日前投票した11% 行くかどうか分からない9% 行かない5% 無回答3%。果たして結果は投票率52.16%でした。

83%の人が行くと言って置きながら、半数近い人は投票に行っていないのです。

これを如何解釈したら良いのでしょうか？調査の際行かないと言うと格好悪いから、嘘を言ったとしか答えが見つかりませんが如何でしょうか？

皆さんも上記二件でお感じになった事があれば是非教えて下さい。

令和4年7月18日

(完)